

特別史跡水城跡

-100年ぶりの土塁断面の調査から-

『日本書紀』には、天智天皇3年(664)に筑紫に水城が築かれた記録が登場します。古代大宰府の防衛施設である水城は、平野を遮断する1.2kmの土塁とその前面の外濠に水を貯えた城壁でした。大正10年(1921)に国指定史跡、昭和28年(1953)に特別史跡となった水城跡は、現在の大野城市と太宰府市に位置しています。平成25年度、九州歴史資料館ではこの特別史跡水城跡の発掘調査を行いました。

調査地は、JR鹿児島本線が通過する水城駅付近の土塁切通しです。本来は土塁が途切れずに繋がっていましたが、鉄道建設によって切通しとなりました。今から100



水城跡土塁の土層断面

年前の大正2年(1913)、鹿児島本線の複線化によって土塁が大きく掘削された際、九州帝国大学中山平次郎・東京帝国大学黒板勝美両博士は、この土塁断面の調査を行いました。土塁の詳細な観察や積土から出土した枝葉の分析など、今日からみても学術的内容の高いものでした。

今回の調査は、かつての調査記録を手掛りに進めました。土塁の表土を除去して断面を露出させ、積土の土質や単位を確認しながら記録をとっていきました。特に土塁中心部には川砂や粘土を使った厚い積土がみられ、かつての調査記録に該当するような状況も確認されました。また、当時の調査

で描かれた絵図には積土の傾斜や色合い等が正確に描かれています。これまで土塁中心部の状況については、100年前のこの絵図が唯一の記録でしたが、今回の調査でその精度の高さを再確認することとなりました。この発掘調査で姿を現した水城の土塁断面から、古の人びとの技術の高さやアジアの歴史につながる遺跡を体感するまたとない機会となりました。

なお、福岡県教育委員会では、この調査成果を基に水城跡の現地公開を行い、秋以降に本格的な整備に着手する予定です。



土層断面の剥ぎ取り作業

福岡県内 発掘情報

かがみさこふんぐん 鏡迫古墳群 (上毛町)

東九州自動車道建設に伴い発掘調査を行いました。調査により、総数49基にも及ぶ弥生時代の石蓋土坑墓が見つかりました。石蓋の裏側や床面には赤色顔料が塗られ、遺体の頭を置く部分には「枕」がありました。

弥生時代の人々は周防灘を一望できる高台に埋葬されていたのです。



ほんまち 本町遺跡 (柳川市)

福岡県立伝習館高校校舎建替に伴い発掘調査を行いました。柳川城下町で武士が居住していた区画にあたり、絵図に描かれた区画に沿って溝が発見されたことから、武家屋敷跡と考えられます。

あまでらあと 尼寺跡遺跡 (那珂川町)

五ヶ山ダム建設に伴い発掘調査を行いました。縄文時代早期の土器や石器(石鏃・石匙)、江戸時代の炭窯15基と石垣が見つかりました。遺跡名に関わる尼寺跡は確認できませんでしたが、密教の護摩焚きで使用されたとされる柄杓の先端部(銅製品)が1点出土しました。



科学分析最前線!

船原古墳遺物埋納坑出土資料

古賀市の船原古墳遺物埋納坑から、総数200点以上の豪華で国際色溢れる馬具等が発見され、全国的に注目されています。当館ではX線CTスキャナによる科学的調査を行っており、出土品の様子が明らかになってきています。6月15日(日)までパネル展開催中です!



金銅装心葉形杏葉
(古賀市教育委員会蔵)

九歴名品探訪 Vol.3

絵葉書「昔のヤマ人」

炭鉱画家、山本作兵衛が原画を描いた絵葉書です。かつて県内に数多く存在した炭鉱の様子を、絵に文章も添えて記録しています。女性や子どもの姿も描かれており、日本の近代化を支えた石炭が、どのように掘り出されていたのかを伝えています。



九歴来館学習の紹介

実際に自分たちがくらす地域から出土した遺物にふれ、歴史や考古学の専門家である学芸員から話をきく——。教室で、教科書や資料集からだけでは学べない発見や感動を味わうことのできる「来館学習」を九州歴史資料館では行っています。

歴史や文化財への親近感、地域への愛着をふくらませた声を来館した児童生徒からもらっています。遺跡と子どもたち、過去と現在をつなぎ、未来へ伝える学びの場となるように、との思いで、今日も子どもたちを迎えます。



来館学習の様子

展示物の一つ一つがとても大切なものだと思います。自分たちの地域にも教科書にあるような昔の人々のくらしや使っていたものがあることがよくわかり、とても身近に感じました。歴史の学習をこれからも楽しみながらがんばっていきます。
(来館児童の感想より)



展示紹介

平成26年度上半期に開催される展覧会を紹介します。

第20回企画展

「きゅうおにとタイムトラベル」

—大昔のくらしと国づくり—

会期：4月8日(火)～7月21日(月・祝) 会場：第2・4展示室

当館のマスコットキャラクター「きゅうおに」の案内で、縄文弥生 奈良時代への時空を超えた旅に出かけます。時代の変遷を視覚的に考えることができる展示です。

第21回企画展

「発掘速報展2014」

会期：7月23日(水)～10月5日(日) 会場：第2・4展示室

平成25年度に行った県内の発掘調査成果などを一堂に展示します。資料整理を行った行橋市延永ヤヨミ園遺跡の木簡、墨書土器なども展示予定!

第22回企画展・
国指定特別史跡・水城跡
築堤1350年記念企画展

「徹底解説!! 水城のすべて」

—古代の築堤・貯水技術—

会期：8月16日(土)
～9月28日(日)

会場：第1展示室

今から1,350年前に築かれた水城跡は、古代の最先端の土木技術を結集した構築物でした。この技術の高さを表す出土資料を中心に、現在へと続く水城跡の軌跡をたどります。日本最古のため池「狭山池」の出土資料も特別出品します。



水城跡の木柱

第23回企画展

「黒田官兵衛と城」

会期：8月16日(土)～9月28日(日) 会場：第1展示室

“名軍師”“築城の名手”と称される福岡藩祖 黒田官兵衛。そのゆかりの城や合戦にかかわる文化財から、黒田官兵衛の足跡と、豊臣秀吉の天下統一や福岡藩の成立に果たした役割を紹介します。



福岡御城下絵図(部分、福岡県立図書館蔵)

九州歴史資料館		行事・事業予定
展 示	常 設 展	「歴史(とき)の宝石箱」【～8月6日(水)】(第1展示室) (※8月7日(木)～15日(金) 9月30日(火)～10月9日(木)は展示替えのため閉室)
	企 画 展	4月8日(火)～7月21日(月・祝)企画展「きゅうおにとタイムトラベル～大昔のくらしと国づくり～」(第2・4展示室) 7月23日(水)～10月5日(日)企画展「発掘速報展2014」(第2・4展示室) 8月16日(土)～9月28日(日)国指定特別史跡・水城跡築堤1350年記念企画展 「徹底解説! 水城のすべて～古代の築堤・貯水技術～」(第1展示室) 8月16日(土)～9月28日(日)企画展「黒田官兵衛と城」(第1展示室)
講 座 イ ベ ント	パ ネ ル 展	～6月15日(日)「なかにうまっているものは… 科学の目でみた古賀市船原古墳遺物埋納坑調査の最前線～」(文化情報広場)
	古 代 体 験	毎週土 日・祝日に、第4展示室で九歴ボランティアによる古代体験実施中(予約不要。有料・無料あり)
発 掘 調 査	名 誉 館 長 講 座	全12回の連続講座「中世の朝鮮半島」(受付は終了しました)
	九 歴 講 座	全12回 第2土曜日(第1回～第4回は2月より、第5回～第8回は6月より受付開始。定員160名。定員になり次第締切)
求 善 提 資 料 館	九 歴 ゼ ミ	4～6月「古代山城について」(受付は終了しました)、7～9月「史料が語る大宰府の歴史」(定員30名、要申込)
	夜 の ギ ャ ラ リ ー ト ーク	9月3日(水)、9月17日(水)(事前申込不要、但し観覧料が必要)
甘 木 歴 史 資 料 館	講 演 会	9月7日(日)企画展「黒田官兵衛と城」記念講演会 中井 均氏(遊覧県立大学教授)(定員160名、要申込) 9月23日(火・祝)水城跡築堤1350年記念企画展記念講演会 林 重徳氏 佐賀大学名誉教授(定員160名、要申込)
	イ ベ ント	4月13日(日)筑前琵琶と墨象パフォーマンス ワークショップ 7月6日(日)きゅうれき七夕イベント その他「調査報告会2014」「ナイトミュージアムinきゅうれき」など
大 宰 府 史 跡 調 査 (蔵 司 地 区) ・ 特 別 史 跡 水 城 跡 ・ 特 別 史 跡 大 野 城 跡 ・ 県 内 遺 跡 発 掘 調 査	求 善 提 資 料 館	大宰府史跡調査(蔵司地区)・特別史跡水城跡・特別史跡大野城跡・県内遺跡発掘調査 4月～3月
	常 設 展	「求善提修験道の世界」
柳 川 古 文 書 館	企 画 展	4月19日(土)～5月25日(日)春の企画展「光のいろどり」～村上兄妹ステンドグラス展～ ※4月26・27日 作家本人によるとんば玉実演奏会 4月19日(土)～5月25日(日)「ふるさと写真コンクール 入賞 入選作品展」
	史 跡 ガ イ ド 活 動	申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします。
柳 川 古 文 書 館	常 設 展	「朝倉の歴史と民俗資料」
	春 季 節 展	3月18日(火)～4月6日(日)「あ! さくら展～春爛漫 桜が主役の作品展～」 作品展とあわせて、資料館を取り囲むように咲く桜をお楽しみください。
柳 川 古 文 書 館	学 習 講 座 「ひみこ」	4月26日(土)より1年間(全15回)。第2・4土曜日を基本として月2回程度実施。 (要申込。定員45名。詳しくは、お問い合わせください。)
	自 主 展 示 会	4月15日(火)～5月6日(火・祝)「平塚川添遺跡公園トンボ玉講座受講生作品展」 4月29日(火・祝)～5月5日(月・祝)「第7回愉しくかきま書展」
柳 川 古 文 書 館	企 画 展	～4月6日(日)「松井家 立石家のおひなさま」 ※展示替えに伴う臨時休館日 4月8日(火)
	常 設 展	4月9日(水)～9月28日(日)「保存のかたち～史料を守り、伝える～」
柳 川 古 文 書 館	常 設 展 併 設	4月9日(水)～6月1日(日)「購入文書展(1)」 6月3日(火)～8月3日(日)「購入文書展(2)」 8月5日(火)～9月28日(日)「購入文書展(3)」
	古 文 書 解 説 講 座	毎月第4日曜日 初級 応用の2コース(受付は終了しました)
柳 川 古 文 書 館	古 文 書 入 門 講 座	7月に募集予定、8月～9月の土曜日に実施予定(全4回)※古文書を集中して学ぶ初心者のための講座です。

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページまたは直接お問い合わせください。



福岡県内の指定文化財

高良山神籠石【国指定史跡】

久留米市御井町

高良山神籠石は水繩山地最西端の高良山(標高312m)に築かれた古代の山城です。

外郭線は約2.5kmで、一つの谷を取り込んだ包谷式山城になります。城門や倉庫は未確認ですが、筑後平野を一望できる場所に築城されており、戦略的に重要な位置を占めます。なお、「高良玉垂宮縁起」(鎌倉後期)に「神籠石」の表記があり、列石をもつ山城が神籠石と呼ばれるゆえんとなりました。高良大社のすぐそばに位置します。



九州歴史資料館 KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106

福岡県小郡市二沢5208-3

☎ 0942-75-9575

FAX 0942-75-7834

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

●公共交通機関

(西鉄電車)天神大牟田線「三国が丘駅」から徒歩約12分

(JR)鹿児島本線「原田駅」からタクシーで約5分

●自転車

(九州自動車道)筑紫野ICから鳥栖筑紫野道路経由で約15分

(大分自動車道)筑後小郡ICから国道500号線・県道88号線経由で約15分

(福岡都市高速)水城出口から国道3号線経由で約25分

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

観覧料 一般200円(150円) 高大生150円(100円)

満65歳以上 中学生以下

障がい者(同伴介護者1名)無料

※土曜日は高校生も無料

※()内は団体料金(20名以上)

休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)

年末年始(12月28日～1月4日)

